

平成28年度
優秀賞

株式会社NTTドコモ

会社概要

株式会社NTTドコモは東京に本社を置き、通信事業や動画・音楽等の配信などを行うスマートライフ事業等を全国的に展開している。鹿児島県においては、株式会社ドコモCS九州鹿児島支店の入居しているノードビルを拠点として県内各地に通信設備を設置している。

「ドコモグループ地球環境憲章」の基本理念・方針のもと、自社の通信事業に伴うCO₂の排出削減や地球環境保全に取り組んでいる。

削減実績

CO₂ 排出量削減率 12.1%達成（平成 22 年度比）

※電力排出係数の悪化の影響に配慮し、電力排出係数を基準年度（平成 22 年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（平成 23 年度～平成 27 年度）の平均排出量を評価した。

実施した対策

全社的な環境保護の取組

「ドコモグループ地球環境憲章」の基本理念・方針のもと、「SMART FOR GREEN 2020」を策定し、2020 年度までに事業活動における CO₂ 排出量を 2008 年度比で 10%削減する目標を掲げ、通信設備の高効率化や省エネ・節電に取り組んでいる。

ドコモ鹿児島ビルにおいては、平成 20 年に ISO14001 を取得し、照明、OA 機器等の省エネ・節電の取組を「年間節電 12 施策」としてチェックシートなどを活用して、取組の啓発・徹底を図っている。

通信設備の省エネ

基地局からの CO₂ 排出削減のため、運用に必要な電力の 95%以上を太陽光発電及び夜間電力等の環境負荷の少ない電力での「グリーン基地局」の導入を推進しており、県内においても 1 基設置している。

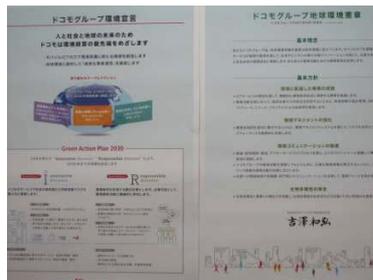
ビル内照明・空調の更改

事務室の空調をインバータ制御空調機に更新したことにより、更新前と比較して事務系の空調消費電力を約 30%削減している。

また、照明については、順次 LED に更改中であり平成 28 年度中にはビル全体の LED 照明化を完了する予定である。約 1,400 灯の更新により 31,000kwh の削減が見込まれている。

この他、全館廊下及びトイレへの人感センサーの設置、照度の調整、電波塔照射水銀灯、広告看板灯の消灯、外灯へのソーラータイマー取り付け等により消費電力の削減を行っている。

今後は、環境負荷の小さい基地局の導入推進や、所有ビルの事務所内での節電・省エネ対策を設備更改含めグループ全体の目標「Green Action Plan2030」を掲げ更なる全社的取り組みを推進する予定である。



社員への環境に関する啓発
(ドコモグループ地球環境憲章)



照明の省エネ
(人感センサー取付け, 間引き)



事務所内空調スイッチの小分け